

スカパーJSATグループ
2011年度 第1四半期決算説明会

2011年8月4日(木)

株式会社スカパーJSATホールディングス

連結業績ハイライト

損益概要

営業収益、利益、EBITDA すべて前年同四半期を上回る実績

連結(単位:百万円)

	2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	前年 同四半期比	2011年度 通期業績予想	業績予想 進捗率
営業収益	35,171	37,911	107.8%	151,000	25.1%
営業利益	1,045	5,916	566.2%	14,000	42.3%
経常利益	463	5,663	1,222.1%	13,200	42.9%
当期純利益	△1,053	3,420	—	7,000	48.9%
EBITDA ^{*1}	5,807	12,226	210.5%	—	—

*1 EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

有料多チャンネル事業の主要指標

新規加入は堅調、Net ARPUは上昇基調

		2010年度 第1四半期	2011年度 第1四半期	2010年度 通期実績	2011年度 通期目標
新規加入件数		15.7万件	15.4万件	58.0万件	60.8万件
純増数		3.2万件	1.6万件	3.8万件	5.3万件
累計加入件数		372.0万件	374.2万件	372.5万件	377.8万件
ARPU ^{*1}	Gross ARPU	3,251円	3,264円	3,236円	—
	Net ARPU	1,457円	1,586円	1,489円	—
SAC (単価) ^{*1 *2}		34,676円	29,502円	34,839円	—
ハイビジョン化率 ^{*3}		8.9%	21.8%	19.2%	—

*1 スカパー / 3サービスをまとめて算定。Gross ARPU: 従来の視聴料ベース単価、Net ARPU: 当社売上となる視聴料又は手数料ベースの単価。

*2 当第1四半期の実績から会計処理の見直しにより販促費の一部をSACから控除。

*3 ハイビジョン化率=(スカパー / HD累計加入件数)÷(スカパー / SD+スカパー / HD累計加入件数)

セグメントの見直しについて

見直しの主なポイント

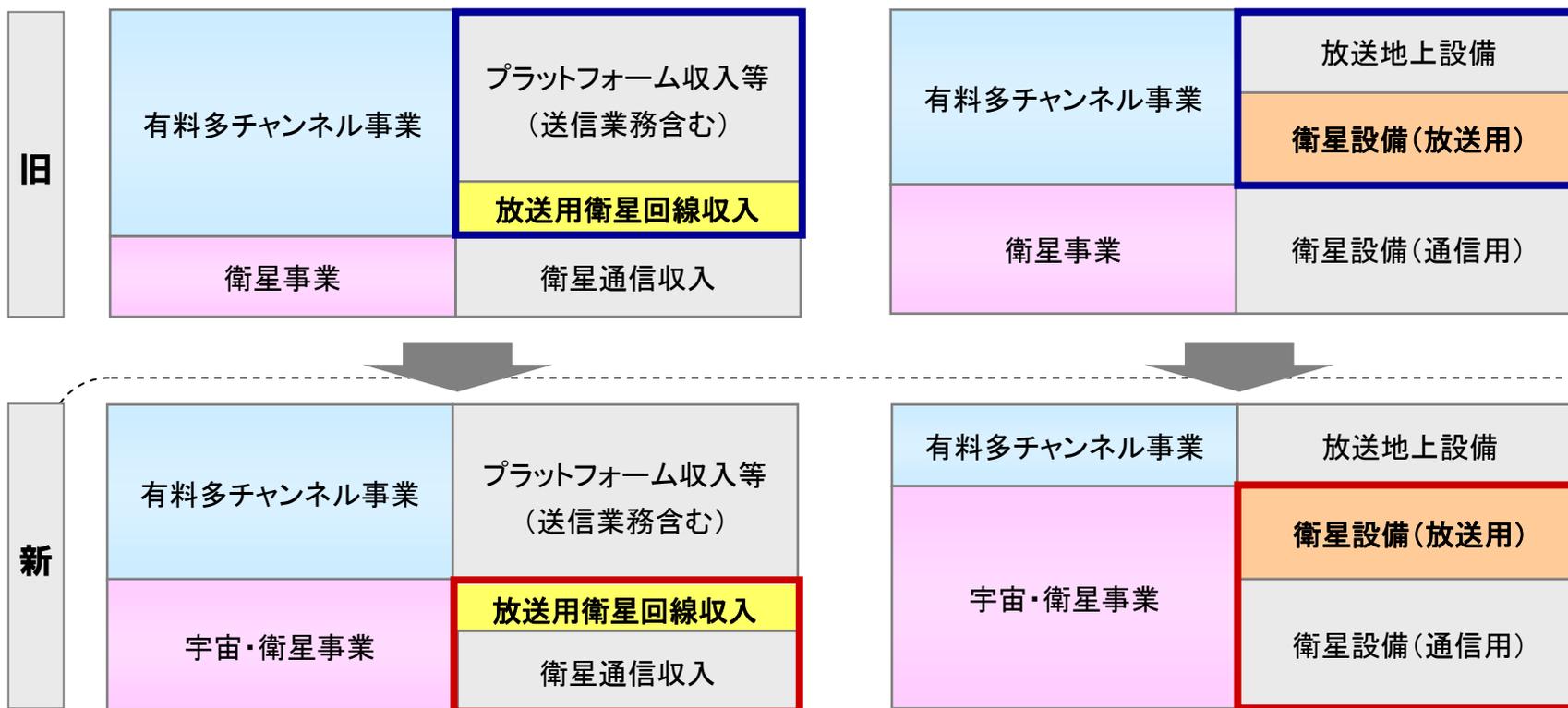
事業セグメントの資産区分及び損益算定方法を変更

- 放送用の衛星回線に係る損益及び資産を全て有料多CH事業から宇宙・衛星事業※に移行

※「衛星事業」のセグメント名称を「宇宙・衛星事業」に変更

【収益・費用】

【資産】



見直しの目的

事業セグメント毎に利益構造を積極的に改革

(環境変化と新たな経営課題)

- ・ HD放送の本格化と、H.264方式への移行計画の実行
- ・ 新BS開始による新しいマーケティング戦略の展開
- ・ H.264方式移行後の衛星回線の有効活用含む衛星利用効率化

成長を見据えた必要投資と
継続的な利益拡大の両立

中期経営計画(2011~2015年度)

有料多チャンネル事業

プラットフォーム事業で継続して利益を出せる体質作り

宇宙・衛星事業

国内に加え海外事業を拡大し、運用コストの低減も実現

セグメント変更

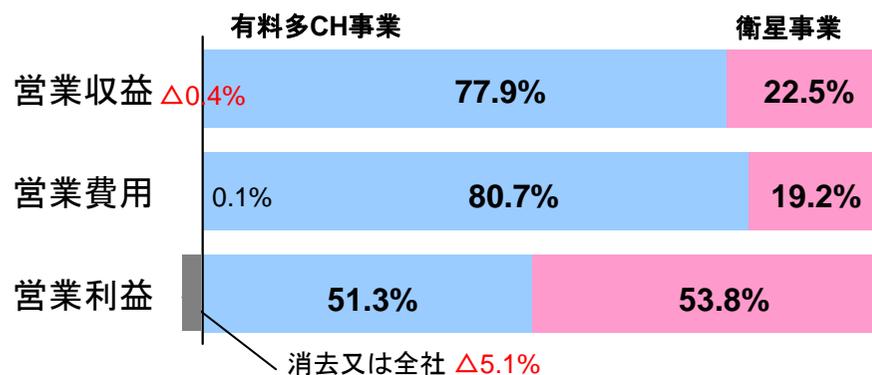
- ・ 有料多CH事業の“プラットフォーム”の損益管理強化(⇒利益構造の改善)
- ・ 宇宙・衛星事業による衛星資産の一元管理(⇒フリートの効率化)

【参考】セグメント区分の新旧対比(2010年度実績、※新区分表示は未監査)

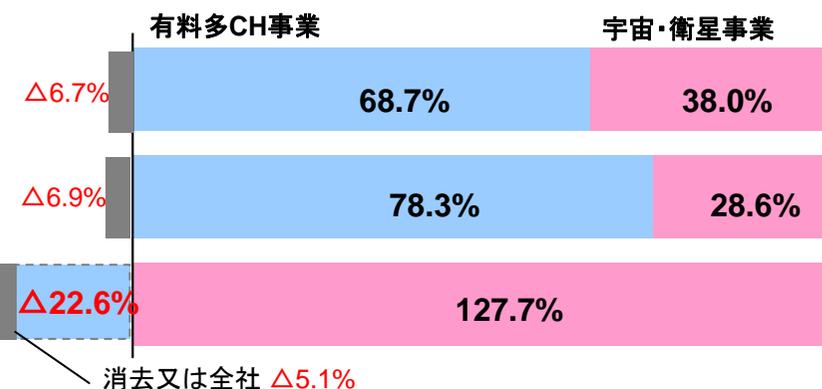
連結(単位:百万円)

	旧区分			新区分 ※未監査			合計
	有料多CH事業	衛星事業	消去又は 全社	有料多CH事業	宇宙・衛星事業	消去又は 全社	
営業収益	110,479	31,909	△539	97,434	53,969	△9,554	141,850
営業費用	103,556	24,645	144	100,488	36,728	△8,870	128,346
(内、減価償却費)	12,769	10,759	510	7,440	16,088	510	24,038
営業利益	6,923	7,264	△683	△3,054	17,241	△683	13,503
セグメント資産	127,246	104,437	90,395	56,462	176,696	88,920	322,078

(旧区分)



(新区分)



2011年度業績見通し(新セグメント区分)

有料多チャンネル事業の利益構造改革を推進

連結(単位:百万円)

	新区分			合計
	有料多CH事業	宇宙・衛星事業	消去又は全社	
営業収益	107,300 (71.0%)	54,300 (36.0%)	△10,600 (△7.0%)	151,000 (100.0%)
営業費用	108,900 (79.5%)	37,900 (27.7%)	△9,900 (△7.2%)	137,000 (100.0%)
営業利益	△1,600 (△11.4%)	16,400 (117.1%)	△800 (△5.7%)	14,000 (100.0%)

主な施策:

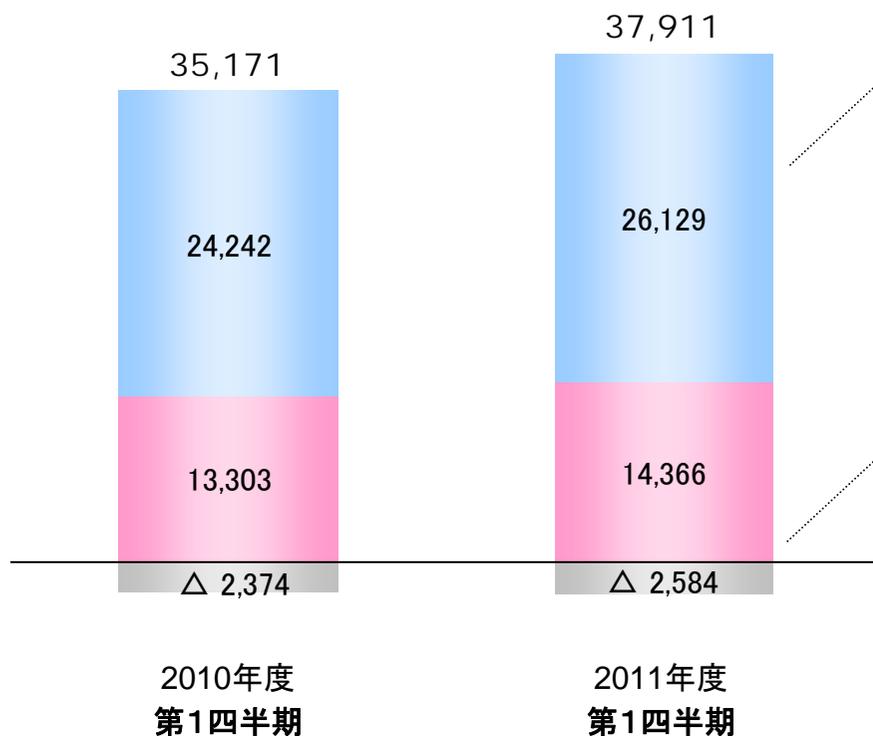
- 新BS放送開始によるプロモーション施策の積極展開
- HD化推進施策の継続
- ネットモバイル系サービスの展開

連結業績解説

営業収益

スカパー！e2とHDの加入拡大が貢献 宇宙・衛星事業では防災・BCP需要が伸張

連結(単位:百万円)*1



有料多チャンネル事業: [+18億円]

- e2、HD加入拡大に伴う視聴料収入増 [+24億円]
- SD業務手数料収入減 [△6億円]

宇宙・衛星事業: [+10億円]

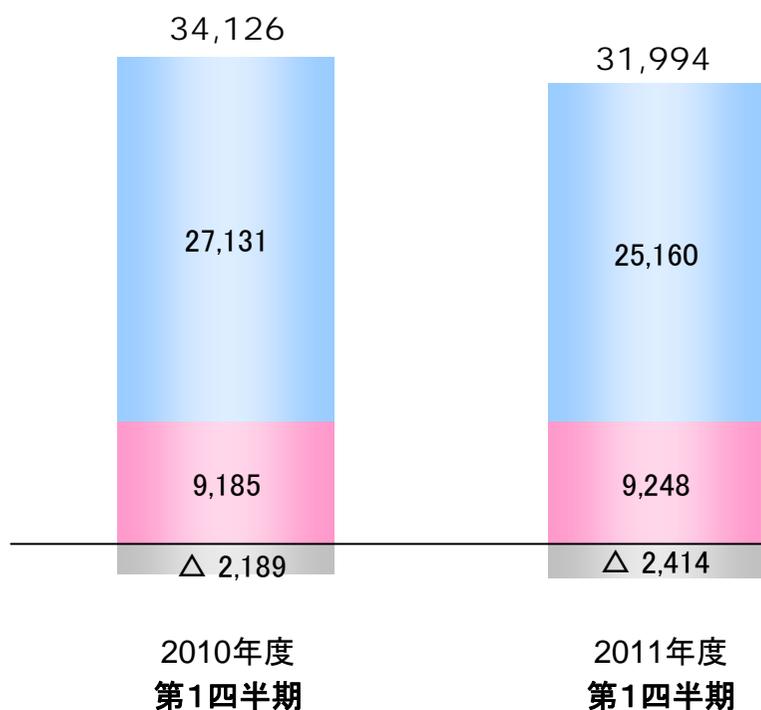
- 震災関連の衛星回線料等の収入増 [+7億円]
- N-STARc関連収入等 [+3億円]

- 有料多チャンネル事業
- 宇宙・衛星事業
- 消去又は全社

*1 セグメント別の数値は新区分で算定(2010年度数値も見直し)。

ワールドカップ関連費用がなくなり減少

連結(単位:百万円)*1



有料多チャンネル事業: [△20億円]

- ワールドカップ放映権等の費用減 [△30億円]
- 広告宣伝費の減少 [△5億円]
- 番組購入費の増加 [+14億円]
 - －スポーツシーズン開幕、節ズレ(震災の影響)
 - －HD番組調達費など

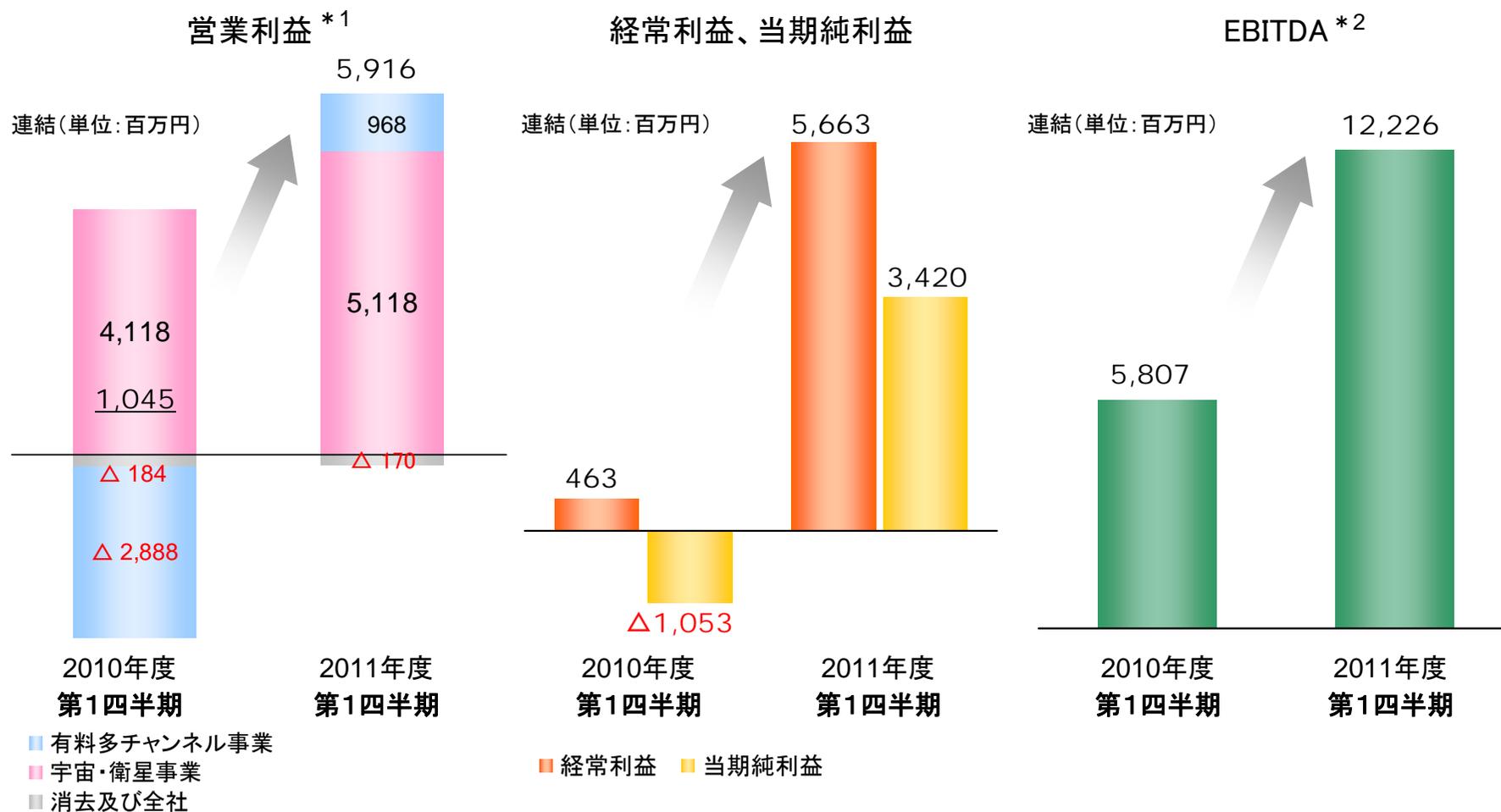
宇宙・衛星事業: [△0.6億円]

- 有料多チャンネル事業
- 宇宙・衛星事業
- 消去又は全社

*1 セグメント別の数値は新区分で算定(2010年度数値も見直し)。

営業利益、経常利益、当期純利益、EBITDA

費用減少により増益基調、EBITDAも増加



*1 セグメント別の数値は新区分で算定(2010年度数値も見直し)。

*2 EBITDA = (当期純利益) + (税金費用) + (支払利息) + (減価償却費)

貸借対照表

安定した財務基盤を維持(自己資本比率 55.0%)

資産の部

連結(単位:百万円)



- 流動資産
- 有形固定資産
- 無形固定資産
- 投資その他の資産

負債・純資産の部

連結(単位:百万円)



- 流動負債
- 固定負債
- 純資産

キャッシュ・フロー

堅調な営業キャッシュフローをベースに 安定したキャッシュポジションを維持

連結(単位:百万円)

	2010年度 第1四半期	2010年度 通期実績	2011年度 第1四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,669	38,956	17,909
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,249	△28,595	5,280
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,184	△17,302	△3,481
現金及び現金同等物の期末残高 (A)	70,980	59,499	79,254
有利子負債期末残高 *1 (B)	106,493	91,692	90,844
純有利子負債期末残高 (B) - (A)	35,512	32,192	11,589
設備投資額	4,252	18,757	3,479
フリー・キャッシュ・フロー *2	11,417	20,199	14,430

*1 借入金+無担保社債

*2 フリー・キャッシュ・フロー=(営業活動によるキャッシュ・フロー)-(設備投資額)

主要子会社別業績概要

子会社業績も引き続き堅調に推移

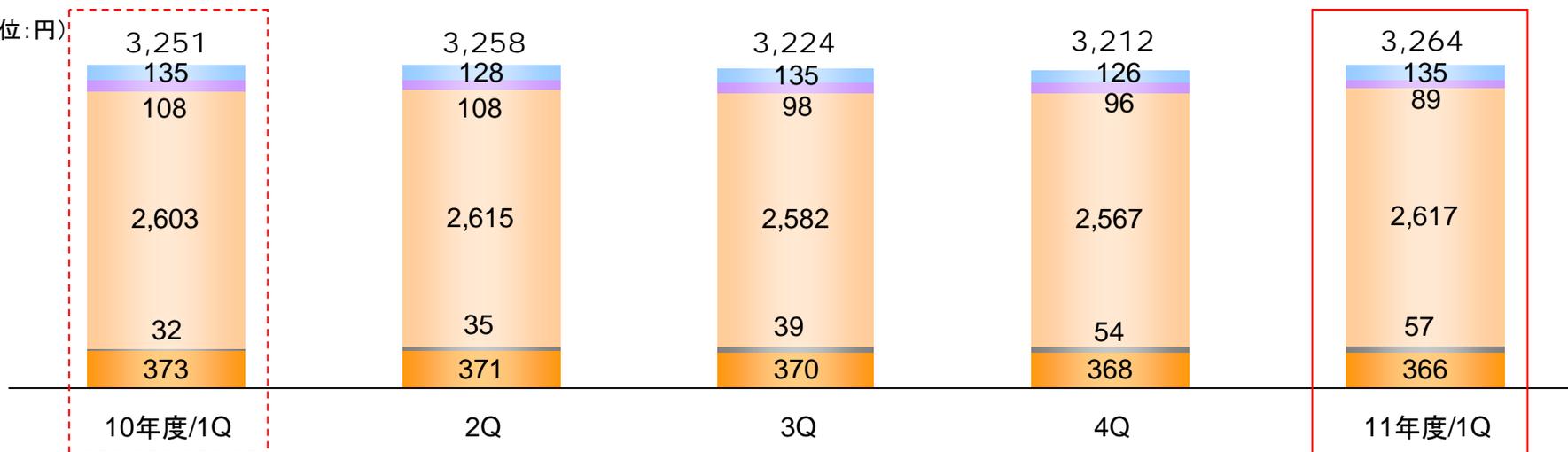
(単位:百万円)

		スカパー・ JSAT	スカパー・ カスタマー リレーション ズ	スカパー・ ブロード キャスト ィング	オプティ キャスト	衛星 ネットワーク	JSAT International Inc.
事業内容		放送プラット フォーム、 衛星通信	顧客管理	放送事業	光ファイバを 利用した 映像配信	衛星通信 回線再販等	衛星通信 回線販売
保有割合(%)		100	100	100	100	92	100
営業収益	FY10-1Q	30,988	4,353	5,466	2,273	939	581
	FY11-1Q	31,448	3,983	6,950	2,543	1,821	541
営業利益	FY10-1Q	1,573	△219	△238	119	61	222
	FY11-1Q	5,722	△61	△16	222	208	230
経常利益	FY10-1Q	1,370	△218	△236	102	58	224
	FY11-1Q	5,675	△60	△15	203	188	230

HD化の進展によりNet ARPUが上昇

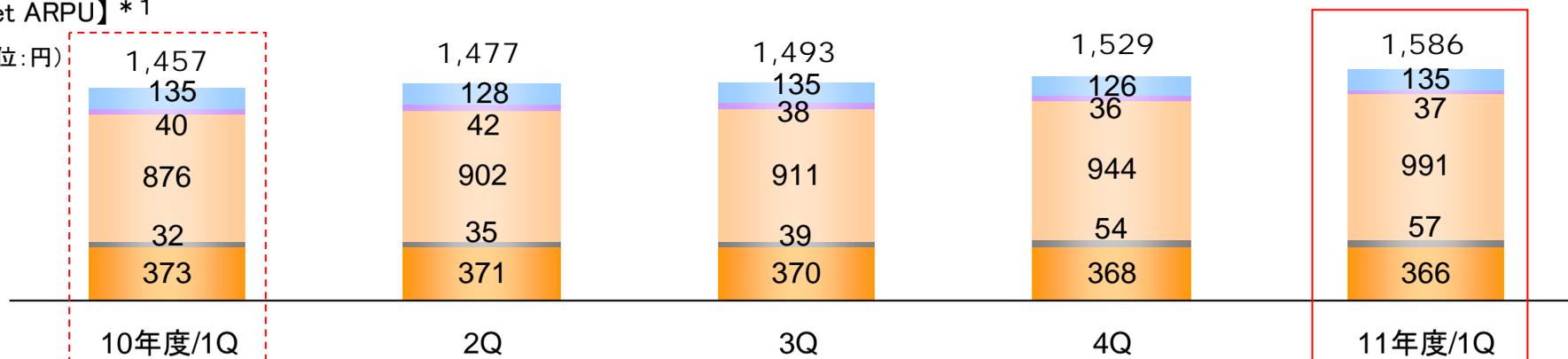
【Gross ARPU】*1

(単位:円)



【Net ARPU】*1

(単位:円)



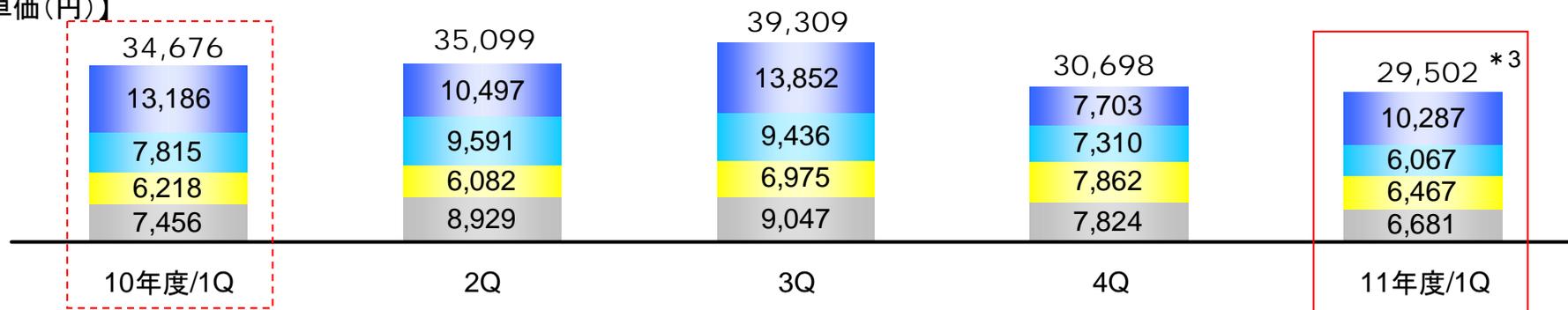
■ 基本料/件 ■ レンタル会費/件 ■ フラット視聴料/件 ■ PPV視聴料/件 ■ 自主コンテンツ収入/件

*1 スカパー！3サービスをまとめて算定。

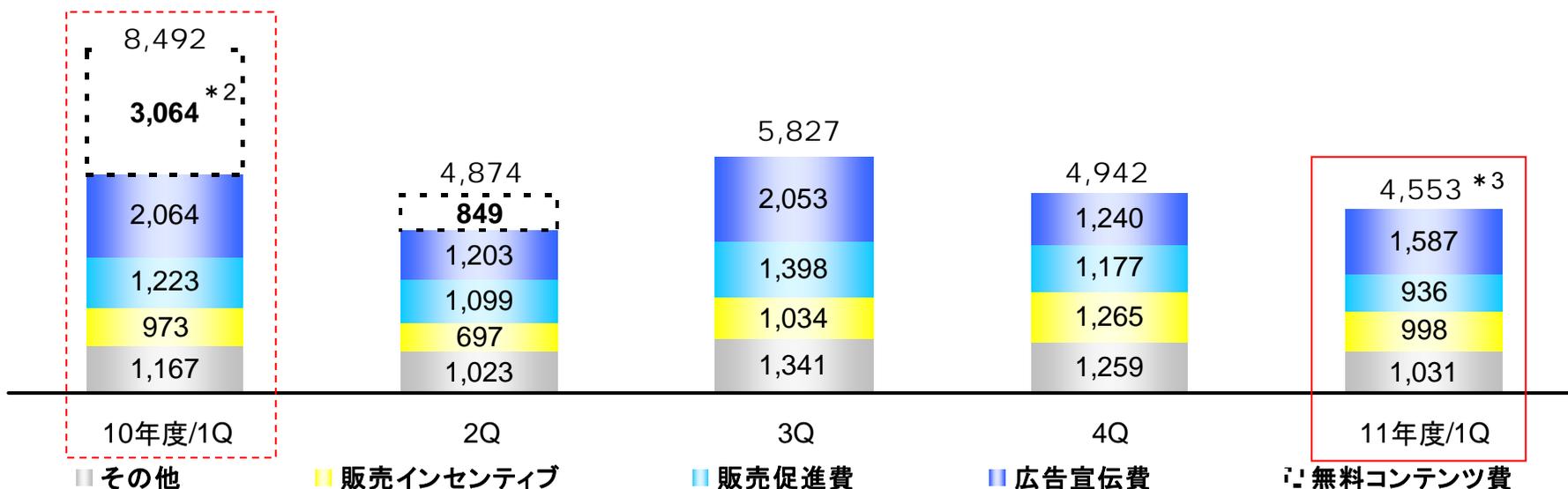
Gross ARPU: 従来の視聴料ベース単価、Net ARPU: 当社営業収益となる視聴料又は手数料ベースの単価

広告宣伝費の減少等により減少

【単価(円)】



【総額(百万円)】*1



*1 スカパー！3サービスの合計。

*2 無料コンテンツ費は、ワールドカップ関連の放映権料、制作費、販促費等。

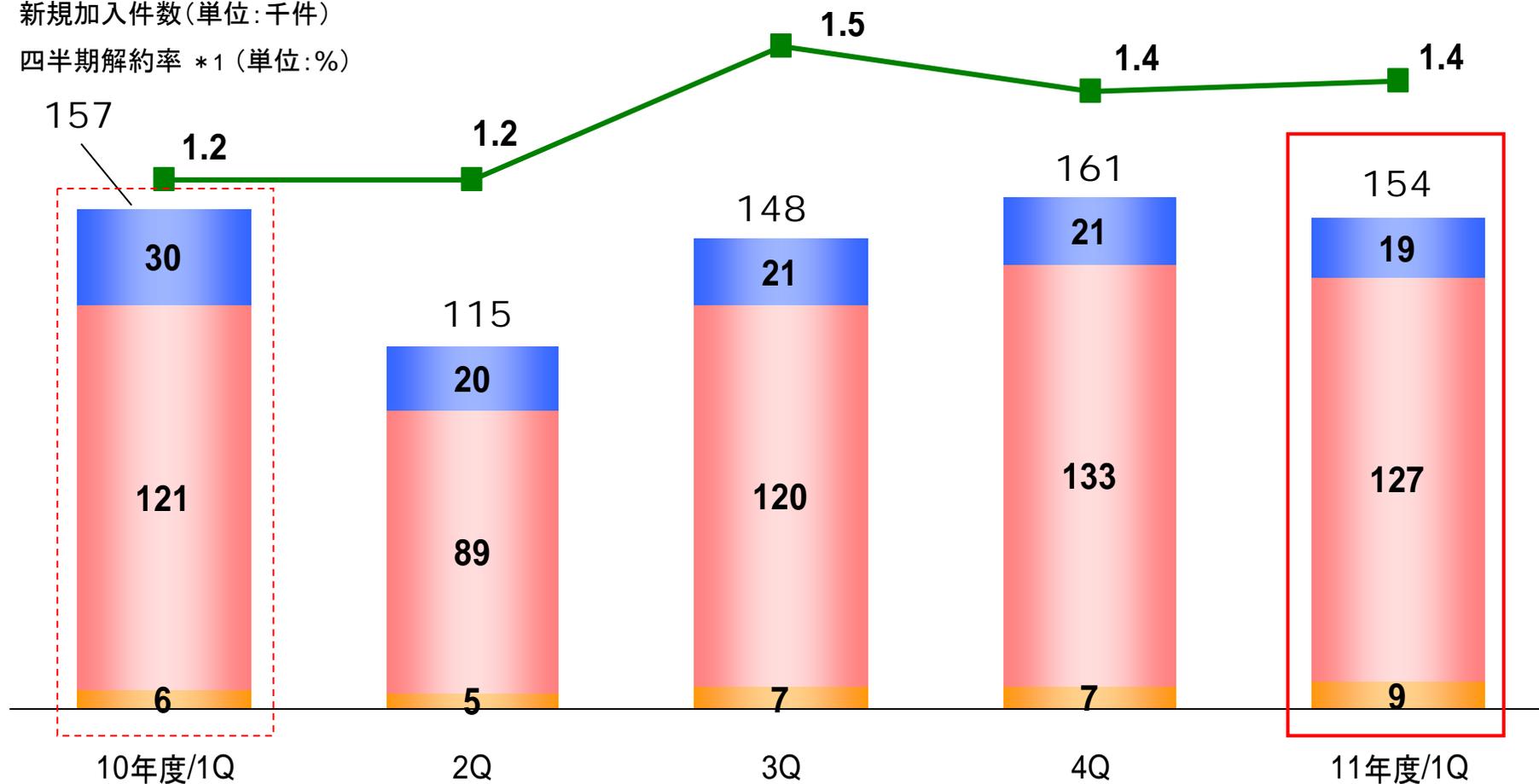
*3 当第1四半期の実績から会計処理の見直しにより販促費の一部をSACから控除(見直し前との差額:単価△775円/総額△119百万円)。

新規加入件数と解約率の推移

スカパー！e2を中心に新規加入は堅調

新規加入件数(単位:千件)

四半期解約率 *1 (単位:%)



■ スカパー！
 ■ スカパー！e2
 ■ スカパー！光
 ■ 四半期解約率

*1 四半期解約率は対象月の平均月次解約率。

2011年度通期業績見通し

連結(単位:百万円)

	2010年度 通期実績	2011年度 通期見通し
営業収益	141,850	151,000
営業利益	13,503	14,000
経常利益	12,394	13,200
当期純利益	4,421	7,000
1株当たり配当金(円)	1,200	1,200
新規加入件数	58.0万件	60.8万件
 スカパー!	9.3万件	11.5万件
 スカパー!e2	46.3万件	47.3万件
 スカパー!光	2.5万件	2.0万件
純増数	3.8万件	5.3万件
年次解約率*	16.3%	16.4%
累計加入件数	372.5万件	377.8万件

* 年次解約率は月次解約率の12ヶ月合計。

今後の取り組み
～有料多チャンネル事業～

いよいよ2011年10月から新BS放送スタート

新BS放送開始による、スカパー！e2加入最大化への新戦略

視聴属性に応じたプロモーション施策

・3つの視聴タイプ毎のアプローチ

□BS・CS視聴世帯(900万世帯)

□BSのみ視聴世帯(1300万世帯)

□地上波のみ視聴世帯

2200万世帯が既に
新BSを含めた

スカパー！e2の視聴が可能

マス媒体(CM・新聞)/web等
積極的に投下

BSスカパー！を活用した視聴者層の拡大

・独占放送やニーズ性の高いコンテンツを積極的に放送

・他メディアとの差別化及びスカパー！e2全体視聴への誘引

BS
スカパー！

新BS放送開始でスカパー！e2の裾野が拡大

新BS放送開始の相乗効果

BSデジタル

総世帯数
2200万世帯

BSチャンネル

- NHK BS
- BS日テレ
- BSTBS
- BSフジ
- BS朝日
- BSジャパン
- BS11
- TwellV
- BSWOWOW

新BSチャンネル

- 2011年10月放送開始(予定)—
- スターチャンネル1※
- スター・チャンネル2※
- スター・チャンネル3※
- グリーンチャンネル
- BS アニマックス※
- FOX bs238※
- BSスカパー！※
- J sports 1
- J sports 2
- 2012年3月放送開始(予定)—
- J sports 3
- J sports 4
- BS釣りビジョン
- 洋画★シネフィル・イマジカ(仮)
- 日本映画専門チャンネル
- ディズニー・チャンネル※

※BSのみでも視聴可能なチャンネル

スカパー！e2
契約で視聴
が可能

スカパー！e2 (CS110度)



ハイビジョン: 11ch
標準画質: 56ch



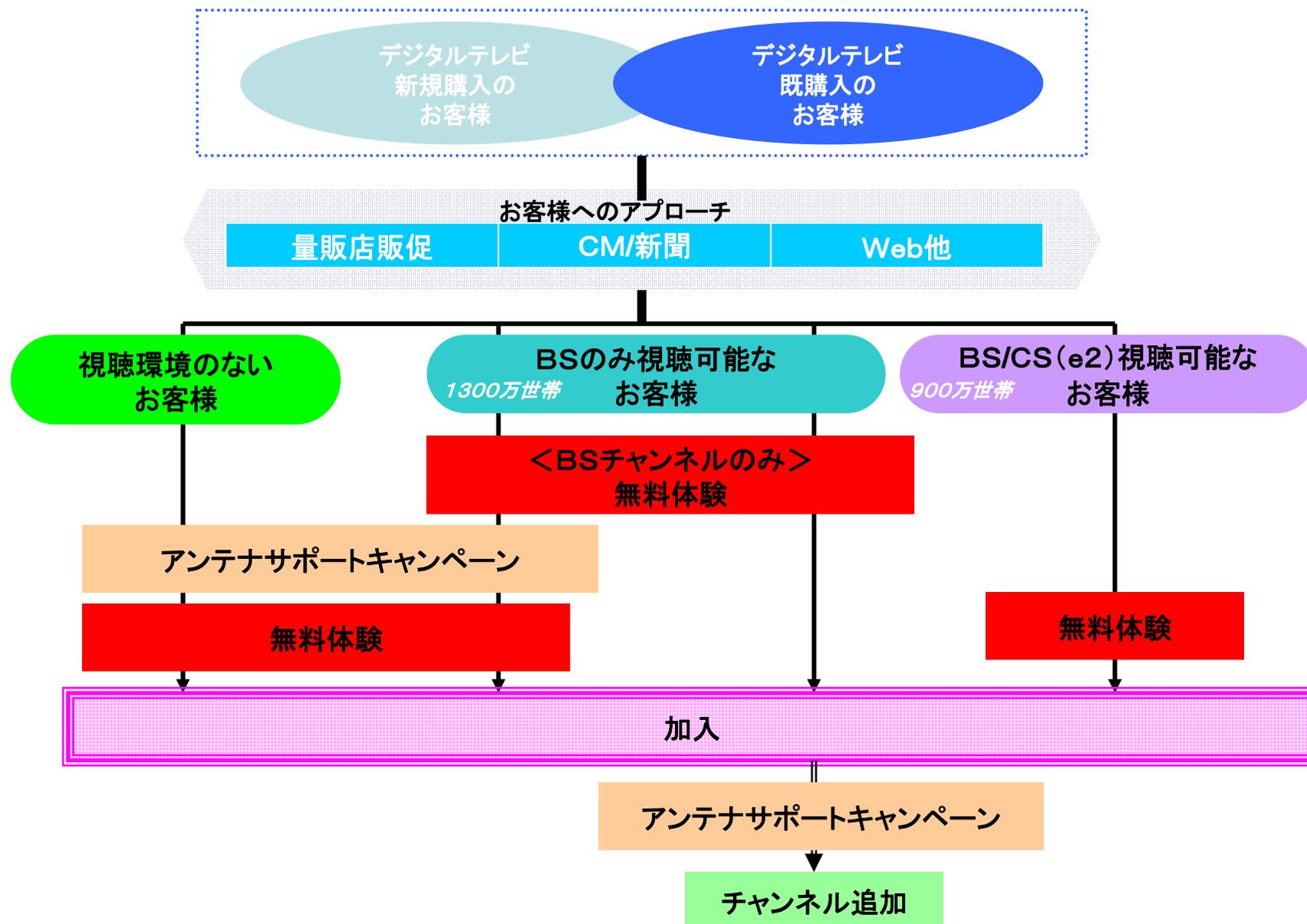
3,570円/月で
42chが見放題



3,570円/月で
全12球団徹底放送

2011年7月現在

新BS放送開局によるスカパー！e2の新しい加入フロー



HD化の推進による純減の歯止め

スカパー！・スカパー！光サービスの累計加入件数を維持

HD化推進施策

- ・「よくばりパック」「えらべる15」視聴料値下げ(7/1～)
- ・レンタル料6ヶ月無料キャンペーン(4/1～)
- ・スカパー！セットでおトクキャンペーン(4/1～)
- ・HDチャンネル120ch体制へ



ダビング機能の追加

- ・スカパー！HD DVRチューナーでムーブ/コピー設定が可能
- ・DVD/ブルーレイレコーダーであればディスク保存も可能



3Dコンテンツの継続的提供

- ・自主制作と放送事業者と連携した魅力ある豊富なコンテンツの拡充
- ・アクトビラ上でのVODサービスを開始(6/30～)



「T-ARA First Show Case 3D」

お客様に、よりスカパー！を楽しんで頂く為に

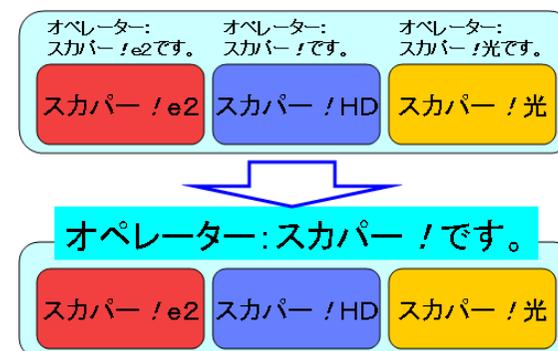
「テレビメディア横断型」番組情報サービス

- ・日本最大級のテレビ情報サービス「テレコ！」
- ・地上波/BS/CS横断型の番組情報サービス
- ・スカパー！で放送されている多種多様な番組を知っていただく新たな機会を提供



コミュニケーションサービスの一元化

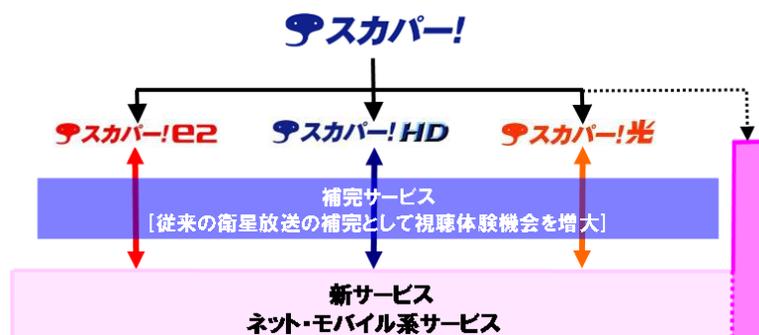
- ・お客様の視聴パターンに応じた、カスタマー対応の向上
- ・新BS放送、VODサービス等、新たな顧客層にも柔軟に対応
- ・スカパー！ワールドからの解約を最小限に阻止



ネット・モバイル系サービスの新展開

スカパー！新領域分野でのサービス拡充

ネット・モバイル系
新サービス
＜イメージ図＞



スカパー！コンテンツのVOD配信サービス 「スカパー！オンデマンド」

- ・スカパー！の番組をブロードバンド回線を利用してオンデマンド方式
- ・加入者を対象にした放送連動・補完型サービス



同時再送信によるIPマルチキャスト放送サービス

- ・スカパー！HDの放送コンテンツがパソコンで視聴可能
- ・未加入者を対象にしたスカパー！サービスの裾野拡大

今後の取り組み
～宇宙・衛星事業～

国内の安定収益基盤がBCP需要で拡大

官公庁・法人の震災対策強化に伴う需要増

通信サービス

- 中央省庁
- 消防関連
- 医療機関等

防災計画の見直し
衛星を利用した通信システム要請の増加



防災BCP計画の見直し が活発化

- ・携帯通信キャリア
 - ・金融機関
 - ・メーカー
 - ・電力・ガス会社
 - ・地方自治体
- (放射線監視・モニター強化)

BCP



クラウドサービス

- ・地方自治体
 - ・データセンター等
- クラウドサービスの需要が顕在化



グローバル事業及び新規事業領域の拡充

積極的な衛星サービスの事業展開

【グローバル事業領域】

海外売上比率の拡大

- ・JCSAT-13の打ち上げ



打ち上げイメージ
(写真はAriane5)

船舶向けインターネット 接続サービス

- ・OceanBBサービス
- ・LNG運搬船
「エネルギーナビゲーター」
に提供開始



エネルギーナビゲーター

【新規事業領域】

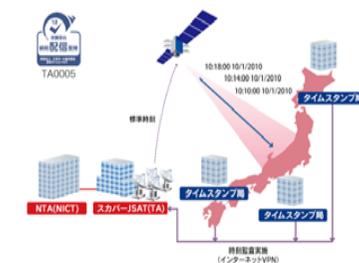
対災害性の高い データ保管サービス

- ・S*Plex3
クラウド・ストレージサービス

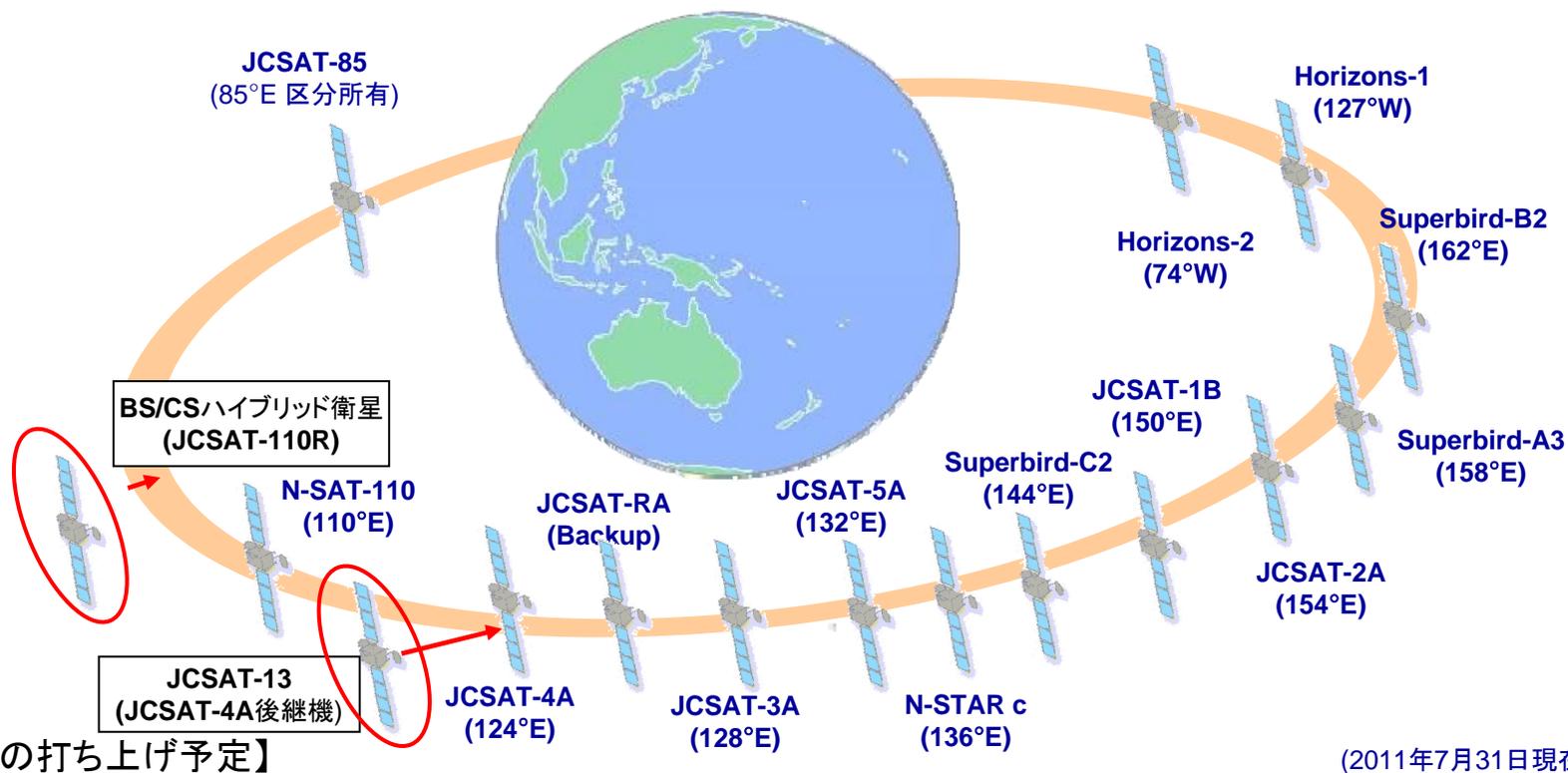


電子書類等の 原本性を確保

- ・TimeShowerサービス



中近東ーアジアーオセアニアー北米を14機で広域カバー



■ BS/CSハイブリッド衛星

(JCSAT-110R CS110度Back up衛星)

<時期>

2011年8月6日(予定)

<中継器本数>

Kuバンド 12本+予備

<カバーエリア>

日本

■ JCSAT-13(JCSAT-4A後継機)

<時期>

2012年度第1四半期(4-6月)

<中継器本数>

Kuバンド 44本

<カバーエリア>

日本、アジア、オセアニア、中近東

将来の見通しに関する記述について

本説明資料に掲載されている予想、戦略、経営方針、目標等のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しに関する記述であり、現在入手可能な情報にもとづく経営者の前提、計画、期待、判断などを基礎としています。これらの将来の見通しに関する記述は、様々なリスクや不確定要因の影響を受けるため、現実の結果が想定から著しく異なる可能性があります。このようなリスクや不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものには、以下のようなものが含まれます。なお、リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんのでご留意下さい。

《経営全般に関するリスク》

- 当社グループの事業に係わる法的規制等による事業の制約のリスク
- 顧客情報のセキュリティに関するリスク
- 大規模災害による重大設備障害に関するリスク

《衛星インフラに関するリスク》

- 通信衛星の機能不全や運用能力低下に関するリスク
- 通信衛星調達に関するリスク
- 衛星への保険付保に関するリスク

《有料デジタル多チャンネル放送プラットフォームサービスに関するリスク》

- 加入者獲得、維持に関するリスク
- 放送事業者に関するリスク
- ICカードのセキュリティ等に関するリスク

本資料に関するお問い合わせは、下記担当部までお願い致します。

株式会社スカパーJSATホールディングス
広報・IR部